

広域行政と火葬場整備を考える

照会 環境課

☎0537(85)1162

平成28年11月10日、御前崎市は火葬場の単独設置、運営を、牧之原市長に申し入れました。本市は、なぜ牧之原市との共同運営を解消することになったのでしょうか。

本市と牧之原市は、合併前の浜岡町、御前崎町、相良町の時代から「消防・救急」「ゴミ処理」「火葬場」を共同運営してきました。現在、消防署はそれぞれの市で設置し、火葬場も単独運営に向けて準備を進めています。

このようなことから、いずれは、ゴミ処理も、現在の枠組みによる運営は困難になることが予想されます。

広域行政とは何か

広域行政とは、自治体の枠を越えて、複数の市町が事務の効率化と経費の削減をするため共同で事務処理を行うことで、「一部事務組合」や「広域連合」と呼ばれるものがこれに当たります。また、広域的な取り組みを進める方法として市町村合併もその一つです。

従来、比較的規模が小さい自治体は、住民の生活に密着した

「消防・救急」「病院」「ゴミ処理」「し尿処理」「火葬場」「学校」などを共同運営することで経費の削減を図ってきました。共同運営の考え方は、少子高齢化社会を迎え、税収が減り財源確保が厳しくなりつつある今、将来にわたって安定した自治体運営をしていくための一つの方策であるといえます。

市町村合併の余波

本市も、近隣の市町と一部事務組合を構成し、各施設を共同運営しています。平成16年の合併で誕生した本市は、当時、郡をまたいだ合併であるとともに静岡県の中中部と西部をまたいだ合併でもありました。これにより「消防・救急」「ゴミ処理」「火葬場」の3業務は、本市と相良町で共同運営することになりました。

した。平成17年に相良町が榛原町と合併し、牧之原市が誕生すると、本市と相良町との共同運営は、本市と牧之原市との運営に変わりました。また、それまで榛原町と吉田町が共同運営していた3業務は、牧之原市と吉田町との運営に変わりました。

その結果、牧之原市は、住民の生活に密着した3業務を、市を2分する形で運営することになり、榛原町が所属していた組合

と、相良町が所属していた組合の両方を維持していくことになりました。

また、御前崎町が合併を機に、榛原総合病院組合から離脱したことは、結果的に牧之原市と吉田町に病院運営費の負担増を強いることになりました。牧之原市は、組合運営による財政負担を軽減するためのさまざまな方向性を模索していますが、いずれも相手があることな

